

HeartCore
操作ログ説明マニュアル
November 2018 Ver1.1

改訂履歴

	改訂日	改訂内容
初版	2016年11月	新規作成
V1.1	2018年11月	改訂

目次

1. 本文書の目的	- 4 -
1.1. 目的	- 4 -
2. ログが出力される操作	- 4 -
2.1. ログインとログアウト	- 4 -
2.2. コンテンツの編集	- 4 -
2.3. コンテンツ設定の編集	- 4 -
2.4. イメージ設定の編集	- 4 -
2.5. ファイル設定の編集	- 4 -
2.6. リンク設定の編集	- 4 -
2.7. Eコマース設定の編集	- 5 -
2.8. ユーザの編集	- 5 -
2.9. ユーザ設定の編集	- 5 -
2.10. バージョンの編集	- 5 -
2.11. マイクロサイトの編集	- 5 -
2.12. ワークフローの編集	- 5 -
3. ログのフォーマット	- 6 -
3.1. ログインとログアウト	- 6 -
3.2. コンテンツの編集	- 7 -
3.3. コンテンツ設定の編集	- 8 -
3.4. イメージ設定の編集	- 8 -
3.5. ファイル設定の編集	- 9 -
3.6. リンク設定の編集	- 10 -
3.7. Eコマース設定の編集	- 11 -
3.8. ユーザの編集	- 12 -
3.9. ユーザ設定の編集	- 12 -
3.10. バージョンの編集	- 13 -
3.11. マイクロサイトの編集	- 13 -
3.12. ワークフローの編集	- 13 -
4. ログ出力の有効・無効	- 14 -
4.1. 出力ログの設定	- 14 -
4.2. 出力ログの有効設定	- 14 -
4.3. 出力ログの無効設定	- 14 -
4.4. 出力フォーマット	- 14 -
4.5. ログ出力先の変更	- 15 -
5. 注意事項	- 15 -

1. 本文書の目的

1.1. 目的

本文書は、HeartCore 管理画面の操作時に出力されるログについて説明しております。本文書の対象は、HeartCore v10.1.5 です。

※本機能は、Java 版のみへ実装されている機能となります。

2. ログが出力される操作

2.1. ログインとログアウト

- (1) ログイン画面アクセス/ログイン試行
- (2) ログイン成功
- (3) ログイン失敗
- (4) ログインブロック
- (5) ログイン時パスワード変更
- (6) ログアウト

2.2. コンテンツの編集

コンテンツの作成、更新/選択移動、公開/選択公開、非公開/選択非公開、削除/選択削除

2.3. コンテンツ設定の編集

- (1) コンテンツグループの作成、更新、削除
- (2) コンテンツタイプの作成、更新、削除
- (3) クラスの作成、更新、削除

2.4. イメージ設定の編集

- (1) イメージフォーマットの作成、更新、削除
- (2) イメージグループの作成、更新、削除
- (3) イメージタイプの作成、更新、削除

2.5. ファイル設定の編集

- (1) ファイルフォーマットの作成、更新、削除
- (2) ファイルグループの作成、更新、削除
- (3) ファイルタイプの作成、更新、削除

2.6. リンク設定の編集

- (1) リンクグループの作成、更新、削除
- (2) リンクタイプの作成、更新、削除

2.7. エコマース設定の編集

- (1) 通貨の作成、更新、削除
- (2) 製品グループの作成、更新、削除
- (3) 製品タイプの作成、更新、削除
- (4) 割引の作成、更新、削除
- (5) 総量の作成、更新、削除
- (6) 税率の作成、更新、削除

2.8. ユーザの編集

- (1) ユーザの作成
- (2) ユーザの更新／選択移動
- (3) ユーザの削除／選択削除

2.9. ユーザ設定の編集

- (1) ユーザグループの作成、更新、削除
- (2) ユーザタイプの作成、更新、削除

2.10. バージョンの編集

- (1) バージョンの作成、更新、削除

2.11. マイクロサイトの編集

- (1) マイクロサイトの作成、更新、削除

2.12. ワークフローの編集

- (1) ワークフローの作成、更新、削除

3. ログのフォーマット

出力されるログは、それぞれ下記のフォーマットで出力されます。各操作によってログの「action」の値が異なります。

3.1. ログインとログアウト

(1) ログイン画面アクセス/ログイン試行

```
action=login username={ユーザ名} userhost={ユーザのホスト名} useraddr={ユーザのインターネットアドレス}
```

(2) ログイン成功

```
action=login.ok username={ユーザ名} userid={ユーザ ID} userclass={ユーザクラス} userhost={ユーザのホスト名} useraddr={ユーザのインターネットアドレス}
```

全体管理者以外のユーザの場合は、ユーザカテゴリを示すログも追加で出力されます。

```
action=login.ok username={ユーザ名} userid={ユーザ ID} userclass={ユーザクラス} usergroup={プライマリユーザグループ} usertype={プライマリユーザタイプ} usergroups={追加のグループを含む全ユーザグループ} usertypes={追加のタイプを含む全ユーザタイプ} userhost={ユーザのホスト名} useraddr={ユーザのインターネットアドレス}
```

(3) ログイン失敗

```
action=login.error username={ユーザ名} userid= userclass= userhost={ユーザのホスト名} useraddr={ユーザのインターネットアドレス}
```

<actionの種類>

- ログイン情報入力エラーによるログイン失敗 : login.error
- ユーザの有効期限設定によるログイン失敗 : login.error.scheduled
 - ユーザの未有効化によるログイン失敗 : login.error.pending
 - ユーザの既無効化によるログイン失敗 : login.error.expired
- ユーザの IP ドメイン未許可によるログイン失敗 : login.error.ipdomain

ログイン失敗時にはエラー理由を示すログも追加で出力されます。

```
action=login.error username={ユーザ名} error={エラー理由} userhost={ユーザのホスト名} useraddr={ユーザのインターネットアドレス}
```

<エラー理由の種類>

- ログイン情報入力エラーによるログイン失敗：入力されたユーザ名とパスワードは登録されていません。
- ユーザの未有効化によるログイン失敗：まだ有効化されていないアカウントです。
- ユーザの既無効化によるログイン失敗：既に期限が切れたアカウントです。
- ユーザの IP ドメイン未許可によるログイン失敗：権限のないインターネットアドレスです。

(4) ログインブロック（ログイン失敗許容回数を超過）

```
action=login.lock username={ユーザ名} userid= userclass= userhost={ユーザのホスト名} useraddr={ユーザのインターネットアドレス}
```

(5) ログイン時パスワード変更（パスワードが無効になるまでの日数を経過）

```
action=password user={ユーザ名} [ユーザ ID] username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

(6) ログアウト

```
action=logout username={ユーザ名} userid={ユーザ ID} userclass={ユーザクラス}
```

3.2. コンテンツの編集

```
action=create content={コンテンツタイトル} [{コンテンツ ID}] username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<action の種類>

- 作成：create
- 更新／選択移動：update
- 公開／選択公開：publish
- 非公開／選択非公開：delete.published
- 削除／選択削除：delete

更新の場合のみ、ワークフローのステータス遷移情報も伴って出力されます。

```
action=update content={コンテンツタイトル} [{コンテンツ ID}] status={旧ワークフローステータス}->{新ワークフローステータス} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

3.3. コンテンツ設定の編集

(1) コンテンツグループの作成、更新、削除

```
action=create contentgroup={コンテンツグループ名} username={ユーザ名}
userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(2) コンテンツタイプの作成、更新、削除

```
action=create contenttype={コンテンツタイプ名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(3) クラスの作成、更新、削除

```
action=create contentclass = {クラス名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.4. イメージ設定の編集

(1) イメージフォーマットの作成、更新、削除

```
action=create imageformat={イメージフォーマット} username={ユーザ名}
userid={ユーザ ID}
```

<action の種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(2) イメージグループの作成、更新、削除

```
action=create imagegroup={イメージグループ} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<action の種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(3) イメージタイプの作成、更新、削除

```
action=create imagetype={イメージタイプ} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<action の種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.5. ファイル設定の編集

(1) ファイルフォーマットの作成、更新、削除

```
action=create fileformat={ファイルフォーマット} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<action の種類>

- 作成 : create
- 更新 : update

- 削除 : delete

(2) ファイルグループの作成、更新、削除

```
action=create filegroup={ファイルグループ名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(3) ファイルタイプの作成、更新、削除

```
action=create filetype={ファイルタイプ名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.6. リンク設定の編集

(1) リンクグループの作成、更新、削除

```
action=create linkgroup={リンクグループ} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(2) リンクタイプの作成、更新、削除

```
action=create linktype={リンクタイプ} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.7. Eコマース設定の編集

(1) 通貨の作成、更新、削除

```
action=create currency={通貨タイトル} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(2) 商品グループの作成、更新、削除

```
action=create productgroup={商品グループ名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(3) 商品タイプの作成、更新、削除

```
action=create producttype={商品タイプ名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(4) 割引の作成、更新、削除

```
action=create discount={割引タイトル} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(5) 送料の作成、更新、削除

```
action=create shipping={送料名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(6) 税率の作成、更新、削除

```
action=create tax={税率名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.8. ユーザの編集

(1) ユーザの作成

```
action=create user={ユーザ名} [{コピー元のユーザ ID}] username={操作者ユーザ名}  
userid={操作者ユーザ ID}
```

(2) ユーザの更新/選択移動

```
action=update user={ユーザ名} [{ユーザ ID}] username={操作者ユーザ名}  
userid={操作者ユーザ ID}
```

(3) ユーザの削除/選択削除

```
action=delete user={ユーザ名} [{ユーザ ID}] username={操作者ユーザ名}  
userid={操作者ユーザ ID}
```

3.9. ユーザ設定の編集

(1) ユーザグループの作成、更新、削除

```
action=create usergroup={ユーザグループ} username={ユーザ名} userid={ユーザ  
ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

(2) ユーザタイプの作成、更新、削除

```
action=create usertype={ユーザタイプ} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.10. バージョンの編集

```
action=create version={バージョン名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.11. マイクロサイトの編集

```
action=create website={マイクロサイト名} username={ユーザ名} userid={ユーザ ID}
```

<actionの種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

3.12. ワークフローの編集

```
action=create workflow={ワークフロー名} - {アクション名} username={ユーザ名}
userid={ユーザ ID}
```

<action の種類>

- 作成 : create
- 更新 : update
- 削除 : delete

4. ログ出力の有効・無効

4.1. 出力ログの設定

ログの設定ファイルは、『[Tomcat のホームディレクトリ]/WEB-INF/classes』直下にある Log4j 機能設定ファイル『log4j.properties』内の『log4j.rootLogger』設定項目へ設定します。

4.2. 出力ログの有効設定

ログ出力を有効にする場合は、Log4j 機能設定ファイル『log4j.properties』内の『WCMaudit』の設定項目、『layout.ConversionPattern』出力フォーマットを設定します。

※出力フォーマットの形式については、下記項目『出力フォーマット』をご参照下さい。

【『WCMaudit』 ログ有効例】

```
log4j.appender.WCMaudit.layout.ConversionPattern= [%p] %d [%c] %m%n
```

4.3. 出力ログの無効設定

ログ出力を無効にする場合は、Log4j 機能設定ファイル『log4j.properties』内の『WCMaudit』の設定項目、『layout.ConversionPattern』出力フォーマットを未設定にします。

【『WCMaudit』 ログ無効例】

```
log4j.appender.WCMaudit.layout.ConversionPattern=
```

4.4. 出力フォーマット

『layout.ConversionPattern』出力フォーマットの種類と説明表

フォーマット	説明
%c	カテゴリ名を出力します。
%d	日時を出力します。
%F	ファイル名を出力します。
%l	位置を出力します。
%L	行番号を出力します。
%m	メッセージを出力します。
%M	メソッド名を出力します。
%n	改行を出力します。
%p	出力レベルを出力します。
%r	アプリケーション開始からの経過時間（ミリ秒）を出力します。

4.5. ログ出力先の変更

ログの出力先は、「/WEB-INF/classes/log4j.properties」プロパティファイルに対し、「WCMaudit」の appender を追加することで、ログ出力先の変更が可能となります。
※指定方法については、通常の log4j 形式に沿って記載ください。

例)

```
log4j.appender.WCMaudit=org.apache.log4j.RollingFileAppender
log4j.appender.WCMaudit.layout=org.apache.log4j.PatternLayout
log4j.appender.WCMaudit.layout.ConversionPattern=[%p] %d [%c] %m%n
log4j.appender.WCMaudit.file=/usr/local/tomcat/audit.log
```

5. 注意事項

Log4j 機能設定ファイル『log4j.properties』の設定を変更した場合は、Tomcat 環境のキャッシュのクリア、及び再起動を行う必要があります。

以上